

公立大学法人九州歯科大学

I 全体評価

平成18年度に法人化した公立大学法人九州歯科大学は、理事長のリーダーシップの下、法人化のメリットを活かした取組を積極的に進め、教育研究等の充実及び主体的・自律的な大学運営に努めてきたところである。

九州歯科大学は、平成24年度から第2期中期目標期間（平成24年4月1日から平成30年3月31日まで）に入り、5事業年度目を迎えたところであるが、設立団体である福岡県が定めた中期目標において、歯科保健医療の高度な専門的知識・技術を教授するとともに、患者の痛みを理解し、円滑な意思疎通ができる能力を身に付け、歯科保健医療の分野において活躍する優秀な医療人を育成することを最も重要な使命としている。

平成28年度の評価にあたっては、前年度評価において指摘した事項の改善状況を確認するとともに、これまでの業務実績も踏まえ、第2期中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から、当該年度の業務実績評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目6項目中1項目（社会貢献）について「特筆すべき進捗状況にある」、4項目（研究、業務運営、財務、評価及び情報公開）について「順調に進んでいる」、1項目（教育）について「おおむね順調に進んでいる」と評定した。

また、中期目標に掲げている重点事項については、全国初となる摂食嚥下分野等の歯科口腔保健に関する先進的教育・研究拠点として、「口腔保健・健康長寿推進センター」を設置し、地域歯科保健医療活動を積極的に展開するなど着実に取り組んでいる。

以上のことを踏まえ、公立大学法人九州歯科大学の平成28年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としては順調に進捗していると認められる。

歯科医療の高度化や高齢化社会の進展等、歯科保健医療を取り巻く環境や社会的ニーズが変化する中、公立大学としての役割を踏まえ、教育研究はもとより社会貢献の充実に向けた取組を更に推進されることを期待する。

II 項目別評価（中期目標項目別評価）

1 教育

| | |
|----|---------------------------------|
| 評価 | 3：中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。 |
|----|---------------------------------|

教育については、進捗が遅れている項目も認められるが、全体的にはおおむね計画どおりに進捗していることから、総合的に判断し、3と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- (1) 地域の歯科保健医療に貢献する歯科医師及び歯科衛生士の育成
 - ・ 歯科医学教育センター主導で、プロフェッショナルリズムの醸成をカリキュラムの中に位置づけた学外宿泊研修や早期登院実習等を通して、初年次教育の活性化を図っている。
 - ・ I R室を設置し、学生データを深く分析するとともに、個別に指導する体制を強化し、歯科医師国家試験合格率を改善した。

- (2) 特色ある大学院教育による優れた教員・研究者の育成
- ・口腔保健学専攻修士課程について、入学定員充足率を充たすとともに、修士課程修了者が歯学専攻博士課程へ進学するなど、人材の育成を進めている。
 - ・文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」において、4大学間で単位互換を実施するとともに、事業報告会や研究発表、成績優秀者の表彰を行うなど、医歯工連携により人材を育成していることを評価する。
- (3) 教員の教育力の向上
- ・教育改善等に係る講演やワークショップの開催により、ファカルティ・ディベロップメントの推進に努めるとともに、学長等による多面的な個人業績評価や学生及び教員による授業評価を行うなど、教育活動の改善を図っている。
- (4) 適性のある優秀な人材の確保
- ・模擬講義の実施などの高大連携に取り組むとともに、高校訪問、オープンキャンパス、施設見学会等の入試広報活動を積極的に実施し、志願倍率、辞退率ともに高水準を維持している。
- (5) 学生への支援
- ・学生支援及び学生指導に関するアンケート調査の評価が低下しており、原因分析と対策に取り組む必要がある。
 - ・口腔保健学科において、多彩な就職先を見学する機会を作るなど、就職支援実施会議を活用して組織的な就職支援を推進し、引き続き就職率100%を達成した。
 - ・熊本地震の被災者等を支援するため、授業料の減免等を行うとともに、入学料免除等の特別措置を整備した。

2 研究

| | |
|----|-----------------------------|
| 評価 | 4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。 |
|----|-----------------------------|

研究については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・論文数や学会発表数が目標を上回るなど、研究業績を適正に評価するとともに、研究成果を積極的に公表している。
- ・科学研究費補助金の獲得件数が目標を上回るなど、外部研究資金獲得を積極的に進めている。

3 社会貢献

| | |
|----|---------------------------------|
| 評価 | 5：中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。 |
|----|---------------------------------|

社会貢献については、年度計画を着実に実施するとともに、目標を大幅に上回る取組や中期計画に掲げられる事項以外にも社会貢献に関する積極的な取組が認められたことから、特筆すべき進捗状況にあると判断し、5と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・「口腔保健・健康長寿推進センター」を設置し、歯科医師等を対象とした摂食嚥下障害や全身疾患がある患者の口腔機能向上に関する実践的教育等を実施したことを評価する。
- ・台湾の大学と学術交流協定を新たに締結し、短期留学生の受入れを開始したことや、短期海外派遣プログラムを正規の選択科目として実施し、海外の大学に学生を派遣していることを評価する。
- ・幼稚園、老人クラブ等で歯科口腔保健に関する講演や相談を実施し、子育て支援や高齢者の健康増進に資する普及・啓発を行っている。

4 業務運営

| | |
|----|-----------------------------|
| 評価 | 4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。 |
|----|-----------------------------|

業務運営については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・附属病院の診療体制を専門診療部と総合診療部に分けるなど、患者中心の診療体制と学修者中心の教育体制の共存を図るとともに、新たに導入した電子カルテシステムを活用して診療科間の連携体制を強化したことを評価する。

5 財務

| | |
|----|-----------------------------|
| 評価 | 4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。 |
|----|-----------------------------|

財務については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・外部研究資金に加え、教育等に関する外部資金の獲得により、目標を上回る収入実績をあげるとともに、高度な医療を提供する自費診療を推進している。
- ・歯科診療所に対応困難な患者に対する訪問歯科診療及び訪問口腔衛生指導の実施回数が目標を上回った。

6 評価及び情報公開

| | |
|----|-----------------------------|
| 評価 | 4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。 |
|----|-----------------------------|

評価及び情報公開については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・大学機関別認証評価及び大学機関別選択評価の評価結果を全教職員にフィードバックし、大学運営の改善に反映させている。
- ・創立百周年記念事業により設立した基金を活用して学生国際交流活動推進プログラムの運用を支援し、大学のブランドイメージを発信している。